

△の数		訂正記事		担 当		検 査		年 月 日	
△	1	RE-6-1295		K.Y.H	L.S.M	2019.01.08		△	
△								△	
適 用 規 格									
定 格	使用温度範囲		-55℃ ～ +105℃ (注1)			保存温度範囲		-10℃ ～ +60℃ (注3)	
	使用湿度範囲		20% ～ 80% (注2)			保存湿度範囲		40% ～ 70% (注3)	
	適合コネクタ		DF51K#-4DP-2DSA/DS(###)			電 流 △	AWG 30 : 0.5A AWG 28 : 1A		
	適合端子		DF5K1-22SC(A)/SCF(A) (###) DF51K-2428SC(A)/SCF(A) (###) DF5K1-30SC(A)/SCF(A) (###)				AWG 26 : 2A AWG 24 : 2.5A AWG 22 : 3A		
性 能									
項 目		試 験 方 法				規 格		QT	AT
構造									
外観,構造,仕上げ		目視, 寸法測定器にて測定する。				図面と合致していること。		0	0
表示		目視にて確認する。						0	0
電氣的性能									
低電圧, 低電流下の接触抵抗		20mV 以下, 1 mA (DC又は 1000 Hz)で測定する。				30 mΩ 以下		0	-
絶縁抵抗		DC 500 Vで測定する。				1,000 MΩ 以上		0	-
耐電圧		AC 650 Vの電圧を 1 分間印加する。				せん絡・絶縁破壊がないこと。		0	-
機械的性能									
繰り返し動作 (Snメッキ)		30 回の抜き差しを行う。				①接触抵抗: 30 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		0	-
繰り返し動作 (Auメッキ)		50 回の抜き差しを行う。				①接触抵抗: 30 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		0	-
結合力及び離脱力 (Snメッキ)		適合コネクタで測定する。				①結合力 : 24.2 N以下 ②離脱力 : 1.2 N以上		0	-
結合力及び離脱力 (Auメッキ)		適合コネクタで測定する。				①結合力 : 16.2 N以下 ②離脱力 : 1.0 N以上		0	-
耐振性		周波数 10～55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。				①1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		0	-
耐衝撃性		加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。						0	-
コンタクトの 引抜き力		ハウジングを固定し電線を引張った際の 強度を測定する。				11.8N以上		0	-
環境的性能									
定常状態の耐湿性		温度 +40 ± 2℃, 湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 (室温に1～2時間放置後測定)				①接触抵抗: 30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 500 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		0	-
温度サイクル		温度 -55 → 105℃ 時間 30 → 30分 を 5 サイクル 試験する。 槽の移し換えは時間は2～3分 (室温に1～2時間放置後測定)				①接触抵抗: 30 mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 1,000 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。		0	-
耐熱性		温度 +105 ± 2℃中に96時間放置する。						0	-
耐寒性		温度 -55 ± 3℃中に96時間放置する。						0	-
備考 (注1) 通電時の温度上昇を含む。 (注2) 結露のないこと。 (注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。									
					製 図	担 当	検 査	承 認	リリース
					J.S CHOI	J.S CHOI	S.M.LIM	T.S KANG	ENG 20.04.12 DEPT
					17.12.22	17.12.22	17.12.22	17.12.22	
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。									
注 QT:確認試験 AT:製品検査 O:適用項目									
HIROSE KOREA CO.,LTD.			製 品 規 格 表			製品名 DF51K-4DS-2C (800)			
コード NO.(OLD) CL			図番. JLC4-632503			製品コード CL 6652-0025-0-800			1 1